

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	研究開発管理システム運営		担当部局庁	大臣官房政策課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	情報化推進室		情報化推進室長 田中 正幸		
会計区分	一般会計		施策名	VII-3 科学技術システム改革の先導				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-Japan戦略Ⅱ(平成15年7月2日 IT戦略本部決定)</li> <li>・電子政府構築計画(平成15年7月17日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)</li> <li>・府省共通業務・システム及び一部関係府省業務・システム並びに担当府省について(平成16年2月10日 各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)</li> <li>・第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)</li> <li>・新たな情報通信技術戦略(平成22年5月11日IT戦略本部決定)及び工程表(平成22年6月22日IT戦略本部決定)</li> </ul>				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	研究開発の効果的・効率的な推進を図るため、競争的研究資金等にかかる応募・採択など研究開発管理に係る書類・手続をすべてオンライン化することにより、研究者に対する研究資金の交付の早期化を目指すとともに、府省横断的に情報を共有することによって研究者への研究開発経費の不合理な重複や過度の集中を排除することにより、研究費の効果的な配分の実現を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究開発管理システム(以下「e-Rad」という。)は、研究開発管理に係る一連のプロセス(応募受付→審査→採択→採択課題管理→成果報告等)をオンライン化し、関係8府省(内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)の競争的研究資金及びプロジェクト研究の課題情報等を登録・情報共有することにより、研究者の利便性向上及び配分機関相互の円滑な情報共有を図り、研究開発管理業務の効率化を実現するもの。本事業は、e-Radの機器賃貸借、維持運用に必要な作業ならびに利便性向上や事業制度改正に伴うシステム改修を主として行うものである。(機器賃貸借については、5年度間の国庫債務負担行為により措置するとともに、その他の維持運用に必要な作業等については、毎年度、一般競争入札を実施。)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	502	502	691	748	361	
		補正予算	0	0	△ 70	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	502	502	621	748	361		
	執行額	414	457	458				
執行率(%)	82.5%	91.1%	73.7%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	オンライン申請利用率			成果実績	%	99	99.8	99.8
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	システム稼働率			活動実績 (当初見込み)	%	100 (99.7)	100 (99.7)	100 (99.7)
	算出根拠		オンライン申請一件当たりの経費 (現行e-Radの運用経費:403,681,000円 / オンライン申請件数:108,217件)					
単位当たりコスト	3,730円/件							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	情報処理業務庁費	465百万円	152百万円	次期システム開発の終了に伴う開発経費等の減				
	電子計算機等借料	283百万円	208百万円					
	職員旅費	-	0.4百万円					
	計	748百万円	361百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>・競争的研究資金等の公募等における申請の電子化は、広く国民の利便性向上に資するものである。</p> <p>・機能追加を含む設計・開発の調達において仕様を精査したこと、また、次期e-Rad設計・開発調達案件等において複数者の入札参加による効果として予算額に対して落札額が大幅に下回ったことにより、不用率が大きくなったものである。</p>
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・調達にあたっては、予算決算及び会計令第99条及び同条の2に基づくもの以外はすべて競争入札によって決定しており、競争性は確保されている。</p> <p>なお、前年度に引き続き、応札業者に対する関連資料の閲覧回数制限の廃止及び質問受付期間の延長により、応札者が調達内容を正確に理解できるよう努める等、入札方法の改善を図っている。</p> <p>・平成23年度についても、前年度に引き続き、CIO連絡会議において決定された目標値(4,809円/件)を下回っている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>・オンライン申請利用率が目標を上回る99.8%と高い水準で推移していることから、前年度に引き続き成果目標に対する達成度を維持しており、成果物は十分に活用されていると判断できる。</p> <p>・競争的研究資金制度等の公募等に対する申請という点では、類似の事業として各府省で運用しているオンライン電子申請システムがあるが、e-Radは、平成16年2月のCIO連絡会議決定に基づき、府省共通業務・システムの一つである研究開発管理業務に特化したものであり、かつ、各府省間で申請情報に係るデータを共有するなど府省横断的に運用しており、一般的な行政手続を対象とする個別のオンライン申請システムとは異なる役割を担っている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>引き続き、事業の着実かつ継続的な実施を図る。</p> <p>e-Radについては、利用者から寄せられる意見・要望等を取り入れるなど、システムの利便性のさらなる向上及び効果的・効率的なシステムの運用に努めるべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、研究開発管理に係る書類・手続をオンライン化し、府省横断的に情報共有を図ることによって、研究開発管理業務の効率化を実現するe-Radの維持運用・システム改修等を行うものであり、予算執行状況及び契約・執行手続の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：これまでの指摘等を踏まえた入札方法の改善努力は認められるものの、一者応札等が見受けられることから、引き続き十分な公告期間を確保するなど競争参加条件等のより一層の見直しを図り、契約の競争性・公平性・透明性のさらなる確保に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
執行等改善	<p>入札の実施に当たっては、これまでも仕様書の見直し、十分な公告期間の確保など、競争性等の確保に努めてきたところであるが、引き続き同様の取組を強化するなど、契約の競争性・公平性・透明性のさらなる確保を行うこととする。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>e-Radポータルサイトを設け、同サイト内のシステム概要のページ(<a href="http://www.e-rad.go.jp/system/index.html">http://www.e-rad.go.jp/system/index.html</a>)において、システム構築の経緯やシステムの機能等について掲示している。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0208	平成23年行政事業レビュー	0003

文部科学省  
458百万円

事業概要

本事業は、e-Radの維持運用に必要な作業ならびに  
利便性向上や事業制度改正に伴うシステム改修を主と  
して行っているものである。

【一般競争入札・賃貸借】

A.機器の賃貸借

支出総額:214百万円  
NECキャピタルソ  
リューション株式会社

事業概要  
e-Radに必要なサーバ  
ー等機器の賃貸借

【一般競争入札・請負】

B.システム運用支援  
・機能追加等

支出総額:108百万円  
民間企業(全5社)

事業概要  
e-Radにおける、維持運  
用に必要な作業ならびに  
利便性向上や事業制度改  
正に伴うシステム改修作  
業等

【随意契約・請負】

C.システム運用支援  
・機能追加等

支出総額:6百万円  
民間企業・独立行政  
法人(全7社・1法人)

事業概要  
e-Radにおける、維持運  
用に必要な作業ならびに  
利便性向上や事業制度改  
正に伴うシステム改修作  
業等

【一般競争入札・請負】

D.次期システム開発  
等

支出総額:131百万円  
民間企業(全2社)

事業概要  
次期e-Radシステムの開  
発作業等

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A. NECキャピタルソリューション株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃貸借料	e-Radに必要なサーバ等機器の賃貸借料	214			
計		214	計		0
B. NECネクサソリューションズ株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム改修費	アプリケーションの保守	37			
システム保守費	利便性向上や事業制度改正に伴うシステム改修	15			
計		52	計		0
C. 富士ソフトサービスピューロ株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム運用費	ポータルサイト登録・修正作業等	1			
計		1	計		0
D. 沖電気工業株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム開発費	e-Radの設計・開発等業務	83			
計		83	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECキャピタルソリューション株式会社	e-Radに係る機器の賃貸借	214	—	—

※平成19年度に一般競争入札を行い、5年契約を締結したものであるため、「入札者数」欄及び「落札率」欄は「—」としている。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECネクサソリューションズ株式会社	e-Radに係るアプリケーション保守	37	2	98.37%
2	富士ソフトサービスビューロ株式会社	e-Radに係るヘルプデスク業務 一式	26	1	58.46%
3	株式会社インフォマージュ	e-Radに係る所属研究機関登録等支援業務 一式	17	不落随契	—
4	NECネクサソリューションズ株式会社	e-Radにおける機能の改修 一式	15	2	98.58%
5	株式会社コンセント	e-Radに係るユーザビリティ調査業務	9	2	100%
6	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	文部科学省情報システムにおけるセキュリティ監査業務 一式	5	2	74.91%

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社オウケイウェイヴ	e-Radポータルサイトにおける「よくあるご質問データベース」の運用について	1	随意契約	—
2	株式会社ユー・エス・イー	e-Radのセキュリティ監査システム運用・保守業務	0.9	随意契約	—
3	富士ソフトサービスビューロ株式会社	e-Radに係るポータルサイトFAQの登録・修正作業	0.9	随意契約	—
4	株式会社グルコース	次期e-Radにおける画面案等資料作成委託業務	0.7	随意契約	—
5	アコムレンタル株式会社	e-Radにおける配分機関向け説明会に係るPCLレンタル業務	0.6	随意契約	—
6	株式会社インターネットイニシアティブ	次期e-Radに係るオンラインストレージサービスの調達について	0.4	随意契約	—
7	独立行政法人 国立印刷局	調達案件に係る官報掲載業務	0.3	随意契約	—
8	株式会社マーシュ	e-Radに係るアンケート調査業務	0.3	随意契約	—
9	富士ソフトサービスビューロ株式会社	e-Radに係るログイン情報通知書発行マニュアル作成作業	0.2	随意契約	—
10	独立行政法人 国立印刷局	調達案件に係る官報掲載業務	0.1	随意契約	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖電気工業株式会社	e-Radの設計・開発等業務	83	5	47.90%
2	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	e-Radの設計開発に係るプロジェクト管理支援業務	48	1	99.98%